|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 第１編　現代日本の政治と経済／第１章　現代日本の政治  **４節　現代政治の特質と課題**  **２ 選挙と政治意識**  （教科書 p.70～73） |  |

■学習課題

▶日本の選挙制度にはどのような特徴があるだろうか。

▶日本の選挙にはどのような課題があるだろうか。

▶低投票率を改善するにはどうすればよいだろうか。

●**選挙の意義としくみ〔p.70〕**

日本国憲法の保障する国民の選挙権

・成年の男女は平等に選挙権を有し，投票の秘密が保障される（第15，44条）

→〔　　　　　　　　〕・〔　　　　　　　　〕・〔　　　　　　　　〕・〔　　　　　　　　〕

選挙制度とは

・〔　　　　　　　　〕：選挙権の行使を議席に結びつけるしくみ

・〔　　　　　　　　　〕…一選挙区から議員を一人選出

・〔　　　　　　　　　〕…一選挙区から議員を複数選出

・〔　　　　　　　　　〕…各政党の得票に応じて議席を配分  
など

小選挙区制の傾向

・相対的多数派が得票率に比して多くの議席を獲得

・少数派の票は議席に結びつかない〔　　　　　　〕となりがち

→二大政党制，単独政権を生み出しやすい

比例代表制の傾向

・少数派の意見が議席数にも反映されやすい

→小党分立，連立政権を生み出すことが多い

●**日本の選挙制度〔p.70～72〕**

衆議院議員総選挙の制度

・〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

…小選挙区制と比例代表制の組み合わせ

サンプル

→〔　　　　　　　　　〕を容認

…1994年に細川内閣の下で導入

※かつては，一つの選挙区から3～5名の議員を選出する大選挙区制

（〔　　　　　　　　　〕）であった

参議院議員通常選挙の制度

・〔　　　　　　　　　　　　　　　〕と選挙区選出制の並立

・非拘束名簿式比例代表制…全国１ブロック

・選挙区選出制…原則，都道府県単位

日本の選挙を規定するもの

・〔　　　　　　　　　〕

…国政選挙・地方選挙とも

…実際の選挙事務担当＝〔　　　　　　　　　　　〕

小選挙区制の特徴

・得票率と議席数の乖離が大きい

例）2021年の小選挙区

・得票率約48％の自民党が65％の議席を獲得

・投票の半数近くが死票

→「つくられた多数派」を生み出す

●**選挙をめぐる諸問題〔p.72～73〕**

「〔　　　　　　　　　〕」問題

・有権者数と議員定数との均衡が選挙区によって違う

＝選挙権の平等の侵害

→裁判で違憲，違憲状態の判決が何度も下される

→格差の是正は国民に対する国会の責任

選挙活動での腐敗，不透明な政治資金

・公職選挙法の改正（1994年）

…冠婚葬祭への寄付などへの規制

…〔　　　　　　　〕（当選の無効）の強化

・〔　　　　　　　　　　　〕の改正（1994年）

…政治家個人への〔　　　　　　　　　　〕の禁止

サンプル

・〔　　　　　　　　　〕の制定（1994年）

…政党への政治資金を税金から支出（〔　　　　　　　　　〕）

投票率低下の問題

・投票率が長期低落傾向

…国政選挙の投票率が50％を下回ることもある

※地方選挙では候補者の減少により無投票で当選も

・投票率の世代間格差

…一般的に高齢者ほど投票率が高い

→高齢者有利の政策実現（〔　　　　　　　　　　　　　　〕）

選挙をめぐる新たな流れ

・政党による政策目標（〔　　　　　　　　〕，〔　　　　　　　　　　〕）の公表

・インターネットによる選挙運動の解禁（2013年）

・〔　　　　　　　　〕の解禁の検討（現在は公職選挙法で禁止）

●**政治的無関心と無党派層〔p.73〕**

低投票率の背景と18歳選挙権

・有権者の〔　　　　　　　　　　〕

…有権者の政党離れ，〔　　　　　　　　〕の急増

↓

選挙権年齢の引き下げ（〔　　　　　　　　　　〕）（2015年）

…若い時期から政治関心を高めるべきとの判断

　　　年　　　組　　　番　名前

memo